

平成15年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	2124
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	病院ボランティア事務局事務事業				
根拠法令等	蒲郡市民病院ボランティア活動受入要綱	A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者様に
手 段	病院ボランティアをコーディネートすることで
想定する成果	よい状態のもとで安心して治療を受けられるようにし、患者サービスの向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
年間延活動人数	457人	469人	480人
実診療日数	245日	246日	243日
年間業務件数	13,010件	16,015件	16,670件

④成果指標

成果指標名	① 1日当たりの業務件数（件）	② 1人当たりの業務件数（件）
成果指標の説明	年間業務件数/実診療日数	年間業務件数/年間延活動人数

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	68.6件
	実績	53.1件	65.1件	—
成果指標 ②	計画	—	—	34.7件
	実績	28.5件	34.1件	—
事業費	事業費	320	370	361
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,973	1,993	2,032
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,973	1,993	2,032

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	1日当たり業務件数が前年比で12件増え、1人当たり業務件数も5.6件増えた。
経済効率性	2	2	有償ボランティアであるが、少しでも役に立てばと好意的に協力をいただいている。
事務効率性	2	2	市職員のかわりではなく、ボランティアとして事務効率に貢献している。
必 要 性	2	2	地域に開かれた病院として、医療・サービスの質の評価・改善のために、継続的に必要である。
小 計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	新病院の開院を機に「より明るくさわやかな病院に」と、この趣旨にご賛同頂いた市民の方々によるボランティア活動である。
合 計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	地域に開かれた病院として、医療サービスの質の評価・改善のために、今後新たなボランティア活動の掘起しが必要になる。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

ボランティア側（市民）から見た病院内のトイレの位置標示や玄関前の駐停車禁止掲示等、患者様の立場に立ってわかりやすい表示方法・場所に改善した。 また、院内図書コーナーの整理整頓に努めた。

⑧今後改善すべき点

現在は外来患者様へのボランティア活動を主体としているが、新たなボランティア活動の掘起しを検討する。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

新たなボランティア活動の掘起しとして、将来的にはボランティアの人員を増員し、患者様のプライバシーやボランティア側の体制を整え、病棟ボランティアへの受入れを検討する必要がある。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1103
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	医療情報管理事務事業		
根拠法令等	蒲郡市民病院処務規定		A 法令	B 条例	C 規則

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	医療情報システムの
手 段	操作の問い合わせや故障時の連絡調整を迅速に対応することにより
想定する成果	システムを、安定して稼動させる。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
延入院患者数	131,021人	131,241人	132,500人
延外来患者数	290,542人	284,021人	281,900人
診療行為データ数	2,111,171件	2,088,099件	2,075,800件

④成果指標

成果指標名	① 患者1人あたりの診療行為データ数	② 年間問い合わせ件数
成果指標の説明	診療行為データ数 / (延入院患者数+延外来患者数)	操作の問い合わせや医療情報システム及び機器に係るトラブル対応件数（レセプト再出力帳票出力依頼件数除く）

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	—	—	5.01件
	実績	5.01件	5.03件	—
成果指標②	計画	—	—	417件
	実績	412件	430件	—
事業費	事業費	53,534	31,240	34,665
	人件費	16,526	16,234	16,706
	(人数)	2.0	2.0	2.0
	合計	70,060	47,474	51,371
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	70,060	47,474	51,371

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	プリンタ紙づまり等小さなトラブルはあるが、重大なトラブルは回避できている。オーダー等使用方法の研修も充実していきたい。
経済効率性	2	2	平日の運用は、業務委託により常時1名の専任操作員を配置し、職員2名が各種医療情報統計の抽出作成等を行っている。今後、益々医療経営分析のための情報収集作成にシフトしてくると思われる。
事務効率性	2	2	既に業務委託しているところであるが、時間外等の問い合わせでは迅速に対応できるよう簡易なものは職員が対応している。
必 要 性	3	3	病院医療情報機能のバックボーンであり、安定した稼動のため必要である。
小 計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

現場の問い合わせに対し、担当者がPHS電話を携帯し迅速に対応できるようにした。年度始めに新任者にオーダーシステム・看護システム等の操作研修を行った。医療情報の統計に対し、病床稼働率や経営状況の把握に役立つ情報抽出に務めた。

⑧今後改善すべき点

現在の医療情報システムは平成9年に稼動し、オーダーリングシステム・看護システム・医事システム等のシームレスな連携を図り、患者様の待ち時間の軽減・正確迅速な医療情報の伝達を進めてきたところですが、社会情勢、医療情勢も変化しているなか当地域の2次医療機関としての役割を果たすためにも、当病院の基本理念(患者さんに対して最善の医療を行う)に則し、より安定したシステムの運営更新を考慮していかなければならない。

⑨平成17年度予算に反映する項目

次期医療情報システムにかかる仕様書・委員会等決定機関の整備検討をし、財源確保ができ次第次期システム導入を図る。

⑩組織、人員に関する提言

病院機能評価や2次医療機関としての機能支援、最近のDPC（診断群分類）による包括的支払い制度や電子カルテシステム等の動向を踏まえ、時代を見据えた新医療情報システムの導入管理体制組織が必要になってくると思われる。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民病院部	事務局	内線等	1100
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	診療報酬請求事務事業		
根拠法令等	健康保険法第43条9	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	外来・入院患者のために
手 段	診療報酬明細書を迅速かつ適切に作成することにより
想定する成果	適正な診療報酬を確保し、病院の健全経営に資する

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
請求総枚数	192,799	189,962	—
うち保留枚数	589	619	—
うち返戻枚数	1,635	1,238	—

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	明細書の保留率 (保留枚数÷請求総枚数)×100	明細書の返戻率 (返戻枚数÷請求総枚数)×100

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	0.30%	0.32%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	0.80%	0.65%	—
事業費	事業費	19,471	15,950	15,950
	人件費	4,131	4,058	4,176
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	23,602	20,008	20,126
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	23,602	20,008	20,126

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	診療報酬明細書の返戻枚数が前年より397枚減少した。
経済効率性	2	2	医療の進歩に伴い、診療報酬明細書の点検内容の仕事量が増え、委託職員数を減らすことはできない。
事務効率性	2	2	一般的な診療報酬明細書は、円滑に処理できている。
必 要 性	3	3	委託業務で事業を実施しており、必要な業務である。
小 計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	医師の、医療保険の請求についての知識の有無によっても左右される業務であるが、委託職員のレベルによっても差がでる。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

生活保護患者については、市が全額負担であるが福祉課への連絡方法を改善をし、保留分の減少に努めた。

⑧今後改善すべき点

外来及び入院事務、診療報酬点検の委託職員の医療事務知識向上に努め、診療報酬明細書の保留、返戻の減少、請求漏れ防止に力を注いでいく。16年度には、契約方法の変更をし、入札等を導入したい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

現在、委託業務で医事業務を行っているが、今後、病院職員で医療事務全般について、知識のある人材を育成し、委託業務をチェックすることが必要である。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1224
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	医師居住用官舎、賃貸住宅等管理、修繕事業				
根拠法令等	地方公営企業法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民病院に勤務する医師の住宅を
手 段	確保することによって
想定する成果	市民病院に勤務する医師の確保ならび緊急時おける医師の確保を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
保有官舎数	12	12	12
（内未使用官舎数）	6	6	4
賃借住宅数	40.0	41.0	44.0

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	医師一人当たり費用 総経費/延医師数	総経費に対する一般財源比率 一般財源/総経費*100

⑤事業の進捗状況

（ 病院会計 ）

（円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画			52,252
	実績	59,427	62,076	
成果指標 ②	計画			82 %
	実績	80 %	78 %	
事業費	事業費	32,442,911	36,124,296	33,227,750
	人件費	4,179	4,132	4,211
	（人数）	0.5	0.5	0.5
	合計	32,447,090	36,128,428	33,231,961
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	6,560,560	7,792,460	5,880,000
	一般財源	25,886,530	28,335,968	27,351,961

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	医師の予算上定員 5 2 名のところ、年度末医師数が 4 7 名であり、定員に対する充足率が低い。
経済効率性	1	1	1 人あたりの家賃収入（約 2 割）に対する経費の支出額が高い。また、医師官舎の老朽化により使用出来ない遊休官舎が多くある。
事務効率性	2	2	医師の医局異動による引越し費用及び敷金、礼金等の支出が多くなっている。
必 要 性	3	3	医師の確保という観点から必要度の高い事業である。また、緊急時における医師確保の上からも必要である。
小 計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	一	一	
合 計	8 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	医師確保という目的から市内に官舎を用意し、医師を病院の近くに居住させる事により緊急時呼び出し等の対応を図ってきたが、経費の増大については再考する必要がある、運用方法等の検討が必要である
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

遊休官舎に関して売却を含めた検討及び、研修医の増加に対応したワンルーム官舎の建築等により経費削減の検討をする必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載